

第 22 回がん臨床研究フォーラムプログラム

平成 24 年 6 月 8 日 (金)

於：国立がん研究センター内国際研究交流会館

<開会の辞> (9:00~9:05)

- ・ 全国がん(成人病)センター協議会会長
(国立がん研究センター理事長) 堀田 知光
- ・ 第 22 回がん臨床研究フォーラム実行委員長
(岩手県立中央病院長) 望月 泉

<午前の部>ワークショップ (9:05~12:00)

主題：地域連携の質の評価と標準化 ～ 現状と課題 ～

がん医療において地域連携の必要性が高まっている。しかし地域連携の運用体制・人員配置のあり方や、標準治療均てん化への効果など「がん地域連携の質」についての評価法は確立されていない。がん治療連携を客観的に評価する方法論が必要である。がん対策推進基本計画の重点課題に挙げられた「がんの地域連携クリティカルパス」を含め、がん地域連携の評価と標準化を目指した研究やその成果報告を期待する。

座長：九州がんセンター副院長 藤 也寸志
岩手県立中央病院長 望月 泉

【9:05~9:50】

基調講演 (講演 40 分、質疑 5 分)

がんにおける地域医療連携の質の評価と標準化～ 現状と課題 ～
国立病院機構四国がんセンター 統括診療部長 谷水 正人

【9:50~10:10】(講演 20 分)

1 地域医療連携の質評価プロジェクト
宮崎県立日南病院 医療管理部医療連携科部長 木佐貫 篤

【10:10~10:30】(講演 20 分)

2 質評価プロジェクト ～がん地域連携パスについて～
(公財)田附興風会医学研究所 北野病院
看護部地域医療サービスセンター 重田 由美

【10:30~10:50】(講演 20 分)

3 地域連携コーディネート機能
千葉県がんセンター 経営戦略部長 浜野 公明

【10:50~11:10】(講演 20 分)

4 大阪府のがん診療地域連携パスの「質の評価」
～大阪府統一型パス運用開始後 2 年間の実績からみた評価～
大阪府立成人病センター 診療局長兼呼吸器外科部長 東山 聖彦

【11:10~12:00】

まとめ

<昼食休憩> (12:00~12:50)

<午後の部>シンポジウム (12:50~15:50)

主題：膵がん診断・治療の最新

膵臓がんは初期にはほとんど自覚症状がなく早期発見が難しいことに加え、がんが膵臓外に出やすく、周囲のリンパ節や臓器に転移しやすいため手術切除率は低く、再発率が高いことも特徴で、消化器がんの中では難治性がんの代表といえる。本企画では、画像診断技術の向上によって、膵がんが早期に発見できるようになってきているほか、新しい治療法の開発などによって、生存率は上昇しつつある現状をふまえた膵がん診断・治療の最新を報告する。

座長：岩手県立中央病院副院長兼地域医療支援部長
岩手県立中央病院長

村上 晶彦
望月 泉

【12:50~13:20】(講演 25分、質疑 5分)

1 病診連携システムを用いた膵がんの早期診断

J A 広島厚生連尾道総合病院 消化器内科診療部長 花田 敬士

【13:20~13:50】(講演 25分、質疑 5分)

2 超音波内視鏡を用いた安全・確実な組織採取法 (EUS-FNA) と
超音波内視鏡ガイド下治療 (Therapeutic EUS)

愛知県がんセンター中央病院 消化器内科部長 山雄 健次

【13:50~14:20】(講演 25分、質疑 5分)

3 手術治療支援ロボットによる腹腔鏡下膵切除術

藤田保健衛生大学 胆膵外科教授 堀口 明彦

【14:20~14:50】(講演 25分、質疑 5分)

4 切除不能の局所進行膵癌に対する化学放射線療法

大阪府立成人病センター 検診部消化器検診科副部長 井岡 達也

【14:50~15:20】(講演 25分、質疑 5分)

5 膵がんに対する重粒子線治療の現状

独立行政法人放射線医学総合研究所
重粒子医科学センター病院 治療課第2治療室長 山田 滋

【15:20~15:50】

総合討論

<閉会の辞>

岩手県立中央病院統括副院長

武内 健一